

## 新技術等登録申請用紙

受付 No.※1	MA060312-80		申請年月日※1	令和6年3月12日		
開発者等	会社名	株式会社ニッコン		担当部署	建材事業部	
	住所	米子市安倍200番地1		担当者	中原洋平	
	TEL	0859-29-5511		FAX	0859-29-4411	
	E-mail	<a href="mailto:nakahara@nikkon-co.jp">nakahara@nikkon-co.jp</a>		URL:	<a href="http://www.nikkon-co.jp">http://www.nikkon-co.jp</a>	
	共同開発の会社名	ベルテクス株式会社 和光産業株式会社		開発年月	令和2年10月	
新技術名称	歩車道境界ブロック一体型多機能側溝					
概要	<p>道路利用者の安全で快適な利用を目的として、集水機能と防草機能を兼ね備えた歩車道境界ブロック一体型多機能側溝を開発した。</p> <p>道路側溝と歩車道境界ブロックを一体構造にすることにより並列で施工する場合より、省スペースでの設置が可能であるとともに縁石一体型の蓋であるため、施工性が向上する。</p> <p>歩車道境界ブロックが一体となった蓋には、歩道側、車道側に防草機能を有しているため、利用者の安全性確保や除草作業の維持管理費の軽減につながる。</p> <p>歩道側、車道側の両方に集水用のスリットを設置(片側4箇所)しているため、排水機能に優れている。また、スリット構造は目詰まりによる機能低下しにくい構造として、下方へ向かって広がるテーパー構造を採用した。</p>					
分類 (該当欄に○)	工法	施工機械	材料	製品		
				○		
新技術等の対象条件 (該当欄に○)	ア 県内に存在する本支店や製造工場により開発されたもの					○
	イ 主として県内産資材を使用し、県内に存在する製造工場により生産されたもの					○
活用効果	比較する従来技術		円型水路+歩車道境界ブロック			
項目	活用の効果			比較の根拠		
機能性	向上	同程度	低下	歩道側、車道側の両方に集水機能と防草機能を備えている。		
耐久性	向上	同程度	低下	従来技術と同程度		
施工性	向上	同程度	低下	従来技術と同程度		
安全性	向上	同程度	低下	従来技術と同程度		
施工時の自然環境への影響	低下	同程度	増加	従来技術と同程度		
コスト縮減	向上(23%)	同程度	低下(%)	従来技術より23%のコスト縮減となる。		
工程	向上(%)	同程度	増加(%)	従来技術と同程度		
施工実績  (施工実績が多い場合は直近の工事3件を記載し、その他は別添(任意様式)とすること。なお、施工実績は、申請時点で完了している工事を対象とすること。)	県内公共工事 9件			県外公共工事 0件		
	発注者名	工事名	工期	発注者名	工事名	工期
	西部総合事務所	三柳中央線改良工事1~7工区	2020年3月18日			
	西部総合事務所	県道赤松淀江線(西原工区)歩道設置工事	2021年7月20日			
	米子市役所	市道安倍三柳線(2工区)改良工事	2023年4月21日			
国関係機関による技術審査証明や評価※2	制度名			証明機関		
	名称及び番号			証明年月日		
その他機関による証明や評価	制度名			証明機関		
	名称及び番号			証明年月日		
特許、実用新案	名称及び特許番号	名称:歩車道境界ブロック 特許:第6830641		取得年月日	令和3年1月29日	
NETIS登録	名称及び登録番号			登録年月日		

<b>特 徴</b>															
<b>■長 所</b> ・歩道側、車道側の両方に集水用のスリットを設置(片側4箇所)しているため、排水機能に優れている。 ・集水用のスリットは下部に向かってテーパーがついて広がっており、ゴミ等が詰まりにくい。 ・歩道側、車道側の両方に防草機能を有しているため、利用者の安全性確保や除草作業の維持管理費の軽減につながる。 ・歩車道境界ブロックとU型側溝を上下連結しないため、出入口新設時などの蓋(歩車道境界ブロック)の交換が容易。 ・U型側溝の底部にインバートコンクリートを打設することで水路勾配の調整が可能。															
<b>■短 所</b> ・側溝の維持管理は管理樹からの作業となる。															
<b>適用条件</b>															
<b>■適用可能な範囲</b> ・水路幅300mm、深さ300mm～700mmの水路に適用できる。 ・歩車道境界ブロックはC型フラットとC型セミフラットに適用できる。															
<b>■適用できない範囲</b> ・水路幅300mmを超え深さ700mmを超える水路には適用できない(検討中)。 ・歩車道境界ブロックのA型、B型のフラット、マウンドアップには適用できない(検討中)。															
<b>留意事項</b>															
<b>■設計時</b> ・従来技術と同様。															
<b>■施工時</b> ・従来技術と同様。															
<b>■維持管理時</b> ・排水機能を維持するため、スリット孔表面付近に堆積した土砂の管理(排除)は必要である。															
<b>従来技術との施工単価の比較</b>															
従来技術と比べ約23%のコスト縮減となる。 <table border="0" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:25%;"><b>【従来技術】</b></td> <td style="width:25%;"></td> <td style="width:25%;"><b>【新技術】</b></td> <td style="width:25%;"></td> </tr> <tr> <td>円形水路+歩車道境界ブロック</td> <td style="text-align: center;">30,500円/m</td> <td>歩車道境界ブロック一体型多機能側溝</td> <td style="text-align: center;">23,500円/m</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">(100%)</td> <td></td> <td style="text-align: center;">(77%)</td> </tr> </table>				<b>【従来技術】</b>		<b>【新技術】</b>		円形水路+歩車道境界ブロック	30,500円/m	歩車道境界ブロック一体型多機能側溝	23,500円/m		(100%)		(77%)
<b>【従来技術】</b>		<b>【新技術】</b>													
円形水路+歩車道境界ブロック	30,500円/m	歩車道境界ブロック一体型多機能側溝	23,500円/m												
	(100%)		(77%)												
施工歩掛	<input checked="" type="checkbox"/> 県土木工事標準積算基準書 <input type="checkbox"/> その他公的機関が制定した基準 (基準名: ) <input type="checkbox"/> 協会歩掛(協会名: ) <input checked="" type="checkbox"/> カタログ歩掛(歩車道境界ブロック据付)、 <input type="checkbox"/> 無	材料単価	<input type="checkbox"/> 掲載あり ( <input type="checkbox"/> 建設物価、 <input type="checkbox"/> 積算資料) <input checked="" type="checkbox"/> 無												
<b>残された課題と今後の開発計画</b>															
・適用可能な範囲が限定されているため、その範囲を広げることが課題であり、開発して行く計画である。															
<b>添付資料</b>															
資料-1 製品パンフレット等説明資料		資料-4 比較根拠資料													
資料-2 施工実績一覧表		資料-5 特許資料													
資料-3 施工写真															

※1 は記入しないでください。

※2 新技術情報提供システム(NETIS)の場合、事後評価を受けたものが対象となります(登録のみは対象外)。

※ 記入欄が不足する場合は、別紙として添付してください。